

【腹部エコー検査を受けられる方へ】

■ 検査の概要

エコー検査とは、超音波を体に発信しはね返ってくる反射波を画像化することで、体の中の様子を調べる検査です。

体の表面に検査用のゼリーを塗りますが、使用するゼリーは無害です。痛みや放射線による被ばくの心配もありませんので、安心して受けていただけます。

腹部エコー検査では、腹部の各臓器（肝臓、胆嚢、腎臓など）の腫瘍の有無、脂肪肝、胆嚢結石、腎結石などが分かります。

検査時間は10～15分程度です。



■ 検査方法

□ ベットに仰向けになり、腹部全体に検査用ゼリーを塗り、超音波機器を当てて観察します。

■ 検査前のご注意

□ 検査前日の21時以降は絶食でお越しください。水分（水とお茶に限る）に制限はありません。

※他の検査も受診される場合は、制限がある場合がありますので、ご注意ください。

□ 腹部を大きく開けられるような服装でお越しください。

□ 胃や腸にガスが多く含まれている場合や、皮下や腹腔内に脂肪が多く蓄積されている場合は観察が困難な場合があります。

■ 検査中のお願い

□ 検査中に息止めをしていただきますので、指示に合わせてお願いします。

□ 必要に応じて体の向きを変えたり、座って検査することもあります。

□ 過去の治療歴や手術歴についてお尋ねすることがあります。あらかじめご了承ください。

その他、ご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。